

FUJITSU Software

シンプリア ティーエフ・デービーエスピー

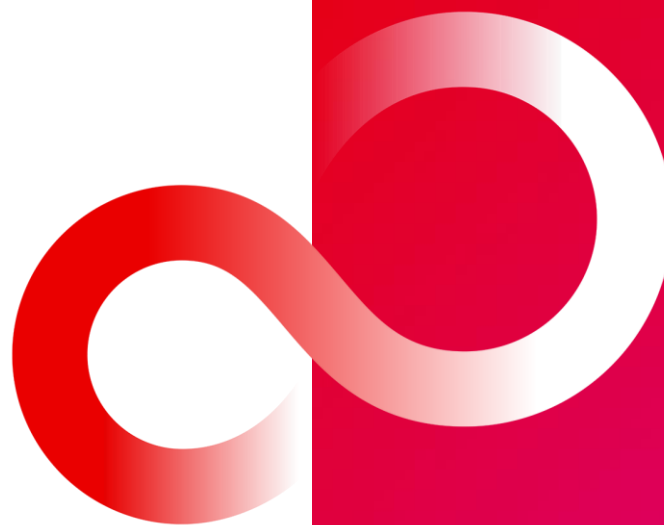
SIMPLIA TF-DBSP V33

ご紹介

(ネットワークデータベース創成・更新・検証ツール)

第1.6版

富士通株式会社



1. 製品の適用工程
2. 製品概要
3. 製品の機能
4. 導入効果
5. 特長
6. 画面例
7. 動作環境

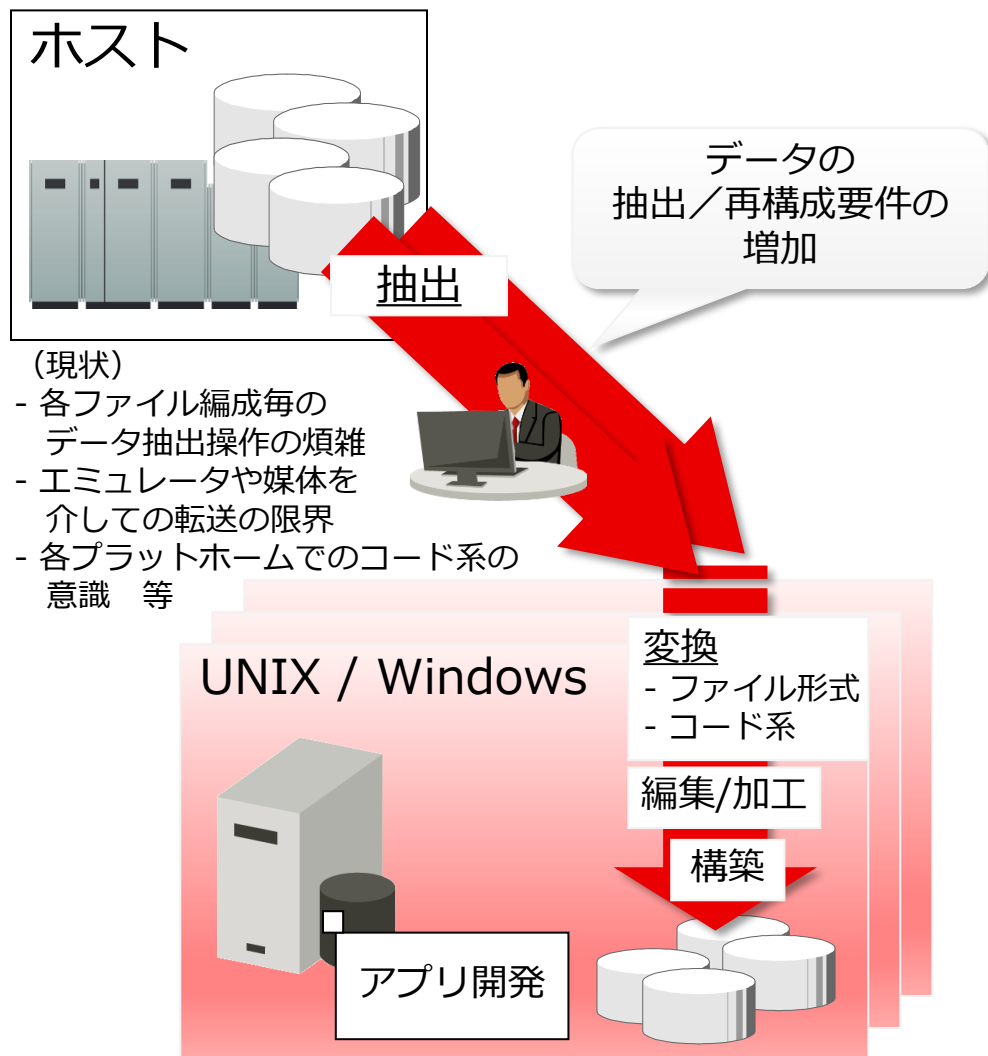
1. 製品の適用工程

● データ操作関連のSIMPLIA製品



: V33L10以降の適用分野 : V32L12までの適用分野

● データ再構築の支援



システム構成形態の多様化

- ・ ホストから他プラットフォームへのシステム移行
- ・ ホストから一部業務の切出し
- ・ オープンサーバ業務のAddOnなど

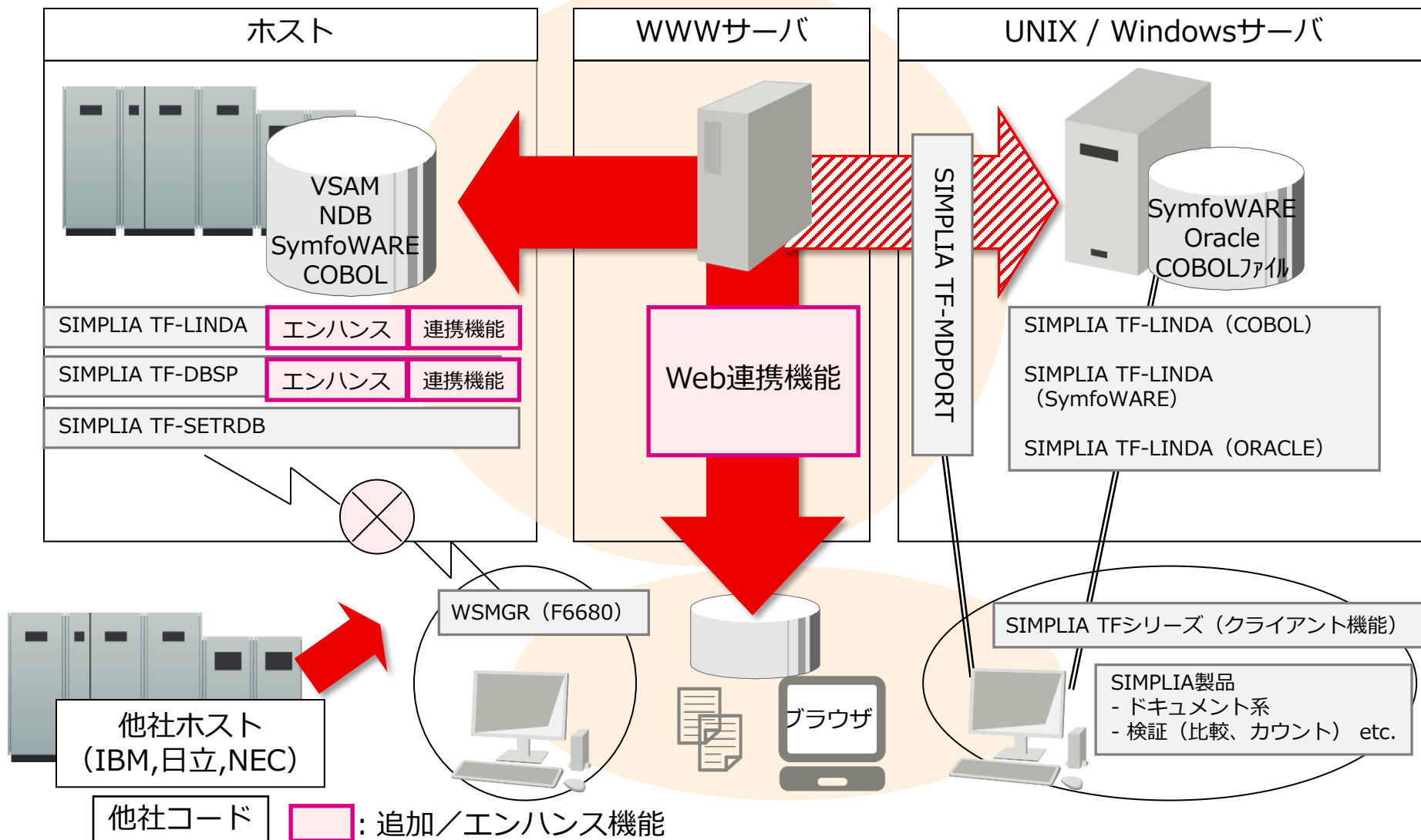
ホスト以外のプラットフォームでの業務アプリ開発

ホスト上のデータを抽出/移行して再利用

開発環境への簡単な導入／利用形態のデータ流用手順を実現！！

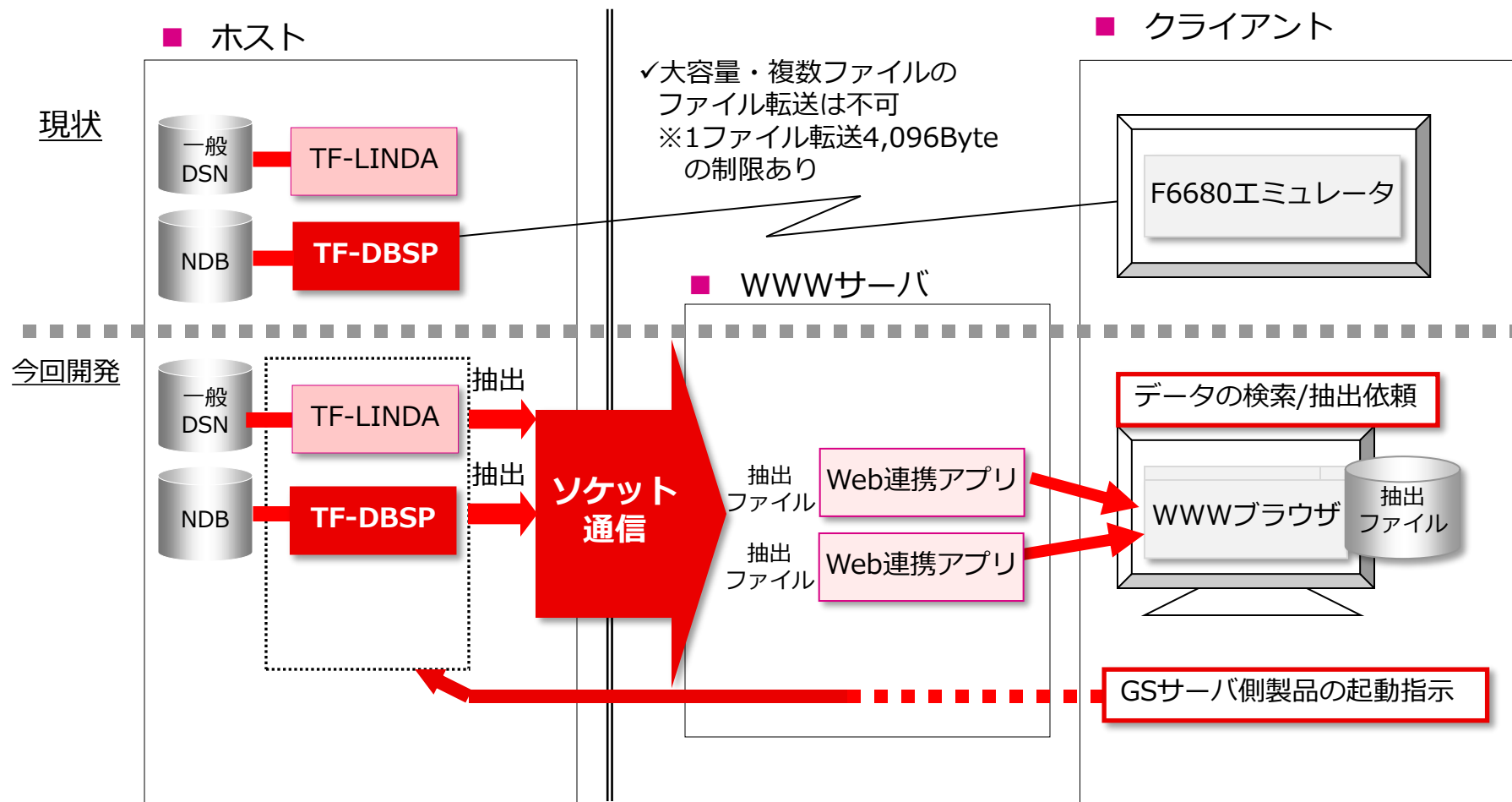
2. 製品概要

● 製品構成



3. 製品の機能

● ソケット技術を利用した通信



本方式による ● 導入コストの負荷が軽い。
メリット (新たな必須P.Pが必要ない)

● 導入コストの負荷が軽い。
(OS標準機能P.Pにて実現)

● 新たな導入・設定作業が必要ない

- DBSPを使用することによりテストデータ作成・検証作業が効率化されます
 - エディタでは直接、更新・参照できないネットワーク型データベースをサポート
 - エディタでは見つらなかった項目属性のデータを見やすく表示
 - レイアウトと対に表示・印刷されるため、更新後データの検証が容易
 - WWWブラウザでホストのデータを検索条件指定でき、データ内容表示やデータ抽出が可能
 - WWWブラウザのデータ表示では、従来の1画面／1レコード表示（レコード形式）と1画面／複数レコード表示（一覧形式）が可能
 - WWWブラウザでホストのデータ抽出が可能となり、簡単にデータの移行が行える。
また、抽出されたデータをSIMPLIA TF-MDPORTと連携することでコード変換が可能

- 5-1. 簡易な操作方法
- 5-2. 見やすいデータ画面
- 5-3. レコードの選択が可能
- 5-4. 項目の選択が可能
- 5-5. セット構造の変更が可能
- 5-6. 一括更新処理（バッチ処理）
- 5-7. 更新ログ取得のためのユーザ出口機能
- 5-8. WWWブラウザからホストデータの操作が可能

5-1. 簡単な操作方法

メニュー画面による会話形式で
ネットワーク型データベースの
創成・更新・印刷・表示を行う

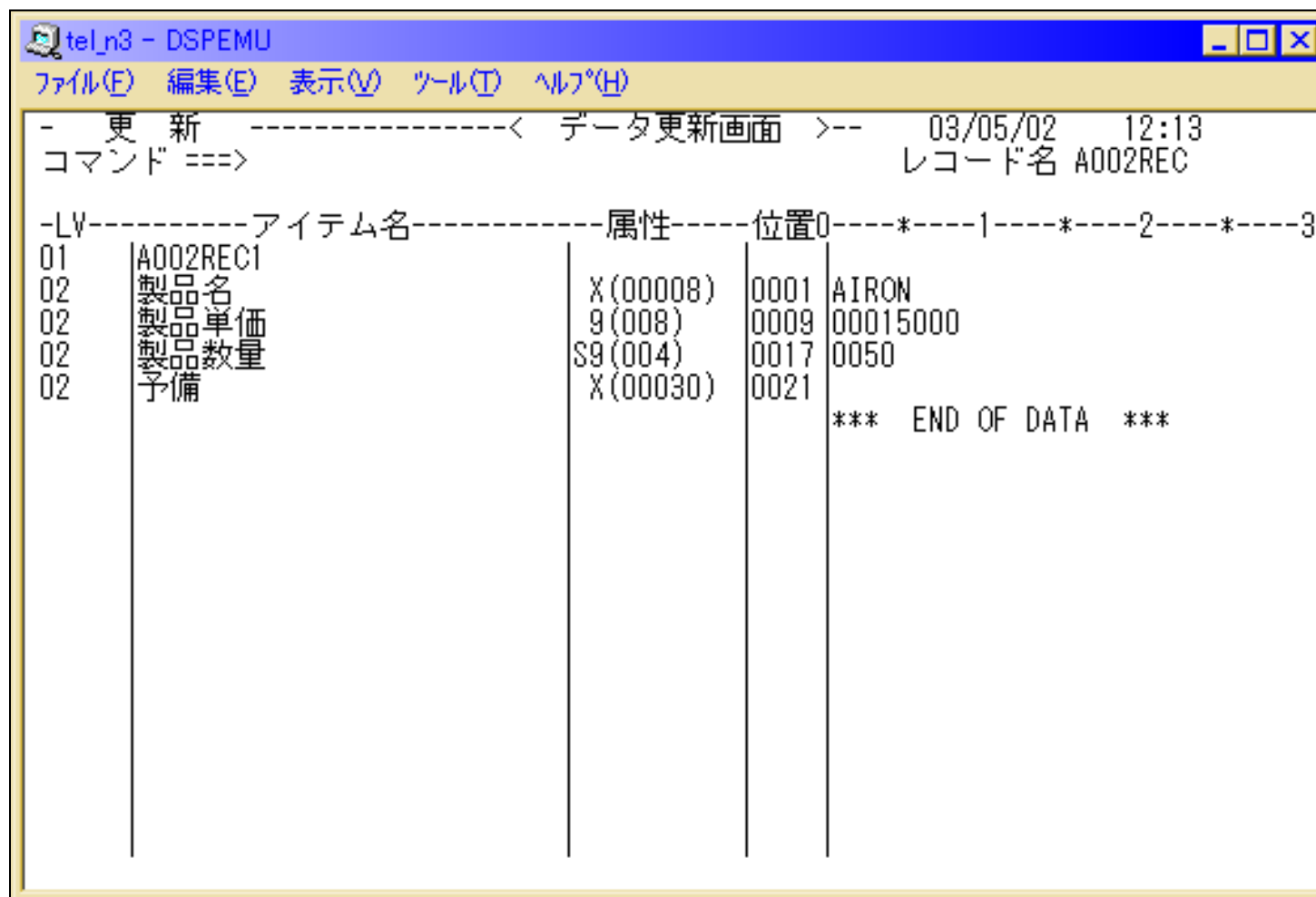
The screenshots show the following screens:

- Top Screenshot:** Main menu with options: 更新 (Update), 表示 (Display), データの表示方法を入力してください (Enter data display method). It shows the date 03/05/02 and time 11:48, and a record name A002REC. Below, it asks for the data display method (1: All data, 2: Selection by item name, default 1).
- Middle Screenshot:** "対象レコード入力画面" (Target Record Input Screen). It prompts for record information and shows a hierarchical structure with fields for Record Name, Redefine Record Name, Expansion Index Name, and Item Specification across four levels.
- Bottom Screenshot:** "更新・表示のメニュー画面" (Update/Display Menu Screen). It lists options: 0 属性定義 (Attribute Definition), 1 レコードの更新 (Record Update), 2 セット構造の変更 (Set Structure Change), and X 処理終了 (End Processing). It also shows project name D23505, user ID D23505, and copyright information for SIMPLIA/TF-DBSP V33L10.

A large red arrow points from the screenshots towards a database icon labeled "データベース" (Database).

5-2. 見やすいデータ画面

データ項目とデータ内容を対にした表示と更新ができる
画 面



-LV-	アイテム名	属性	位置	0	1	2	3
01	A002REC1						
02	製品名	X(00008)	0001	AIRON			
02	製品単価	9(008)	0009	00015000			
02	製品数量	S9(004)	0017	0050			
02	予備	X(00030)	0021				
				***	END OF DATA	***	

5-3. レコードの選択が可能

レコード番号, あるいはキー内容により
特定レコードの表示を行う

ネットワーク型データベース

00002001B20021202B01DENPYO02
00003002C20020102B02DENPYO03
00004003D20021002B03DENPYO04
00005004E20020402B04DENPYO05
00006005F20020802B05DENPYO06
00007006G20021005B06DENPYO07

表示対象
レコード

tel_n3 - DSPEMU
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

- 更新 -----< 対象レコード入力画面 >----- 03/05/02 12:14
コマンド ===>
処理対象のレコード情報を入力してください。

第1階層	レコード名	A001REC	エントリキー	00002
	再定義レコード名	A001REC1		
	拡張インデックス名		LOCATIONキー	
			件数指定	
			セット名	
第2階層	レコード名		アイテム指定	
	再定義レコード名			
			件数指定	
			セット名	
第3階層	レコード名		アイテム指定	
	再定義レコード名			
			件数指定	
			セット名	
第4階層	レコード名		アイテム指定	
	再定義レコード名			
			件数指定	
			セット名	
第5階層	レコード名		アイテム指定	
	再定義レコード名			
			件数指定	

tel_n3 - DSPEMU
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

- 更新 -----< データ更新画面 >--- 03/05/02 12:16
コマンド ===>
レコード名 A001REC

-LV-	アイテム名	属性	位置0	1	2	3
01	A001REC1					
02	発管番号	9(005)	0001	00002		
02	発管詳細番号	9(003)	0008	001		
02	発管課名コード	X(00001)	0009	8		
02	発管年月日	X(00008)	0010	20021202		
02	発管製品コード	X(00003)	0018	B01		
02	発管内容	X(00030)	0021	DENPYO02		
				*** END OF DATA ***		

5-4. 項目の選択が可能

項目名を選択してレコード表示を行う

選択結果

tel_n3 - DSPEMU

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

-----< 表示法の選択メニュー >----- 03/05/02 12:17
データの表示方法を入力してください。 レコード名 : A001REC

データ表示方法 ==> ☐ (1:全データ 2:アイテム名選択による
省略は1)

OCCURS項目展開 ==> (YES/NO 省略時はNO)

tel_n3 - DSPEMU

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

-----< データ更新画面 >--- 03/05/02 12:17
コマンド ==> レコード名 A001REC

-LV-	アイテム名	属性	位置0	1	2	3
02	発管番号	9(005)	0001	00002		
02	発管年月日	X(00008)	0010	20021202		
02	発管製品コード	X(00003)	0018	B01		
				***	END OF DATA	***

tel_n3 - DSPEMU

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

-----< アイテム名選択画面 >----- 03/05/02 12:17
コマンド ==> レコード名 : A001REC

SEL	SEQ	RED	LV	ア	イ	テ	ム	名
	0001	0000	01	A001REC1				
S	0002	0000	02	発管番号				
	0003	0000	02	発管詳細番号				
	0004	0000	02	発管課名コード				
S	0005	0000	02	発管年月日				
S	0006	0000	02	発管製品コード				
	0007	0000	02	発管内容				
				**	END	**		

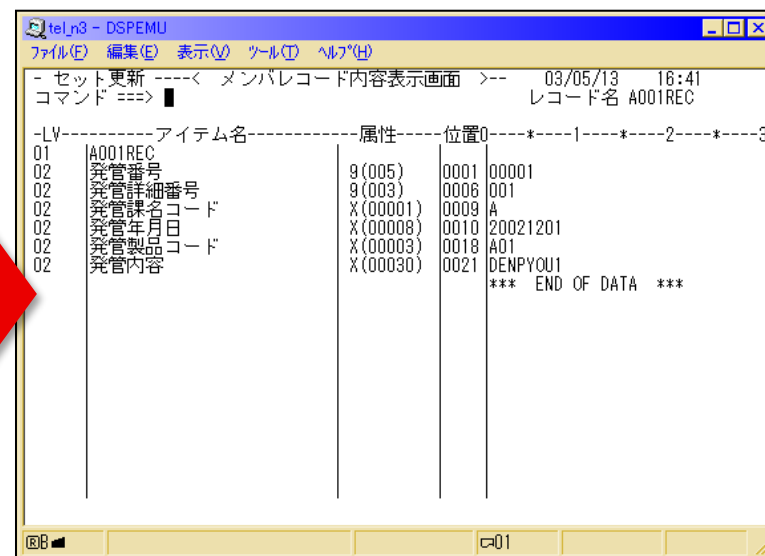
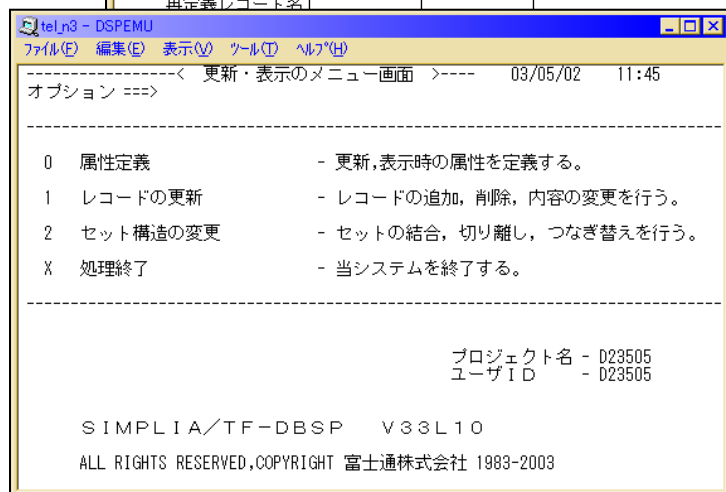
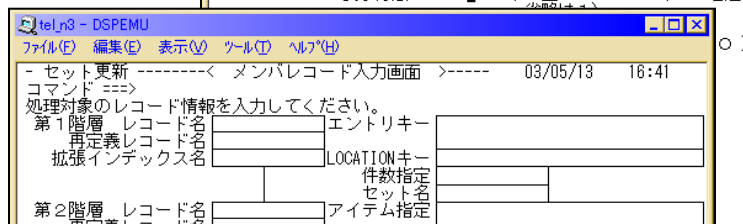
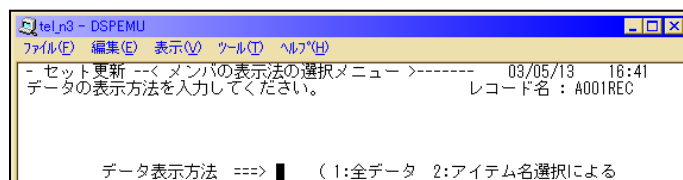
選択記号

データベース

5-5. セット構造の変更が可能

メニュー画面による会話形式でセット構造の変更を行う

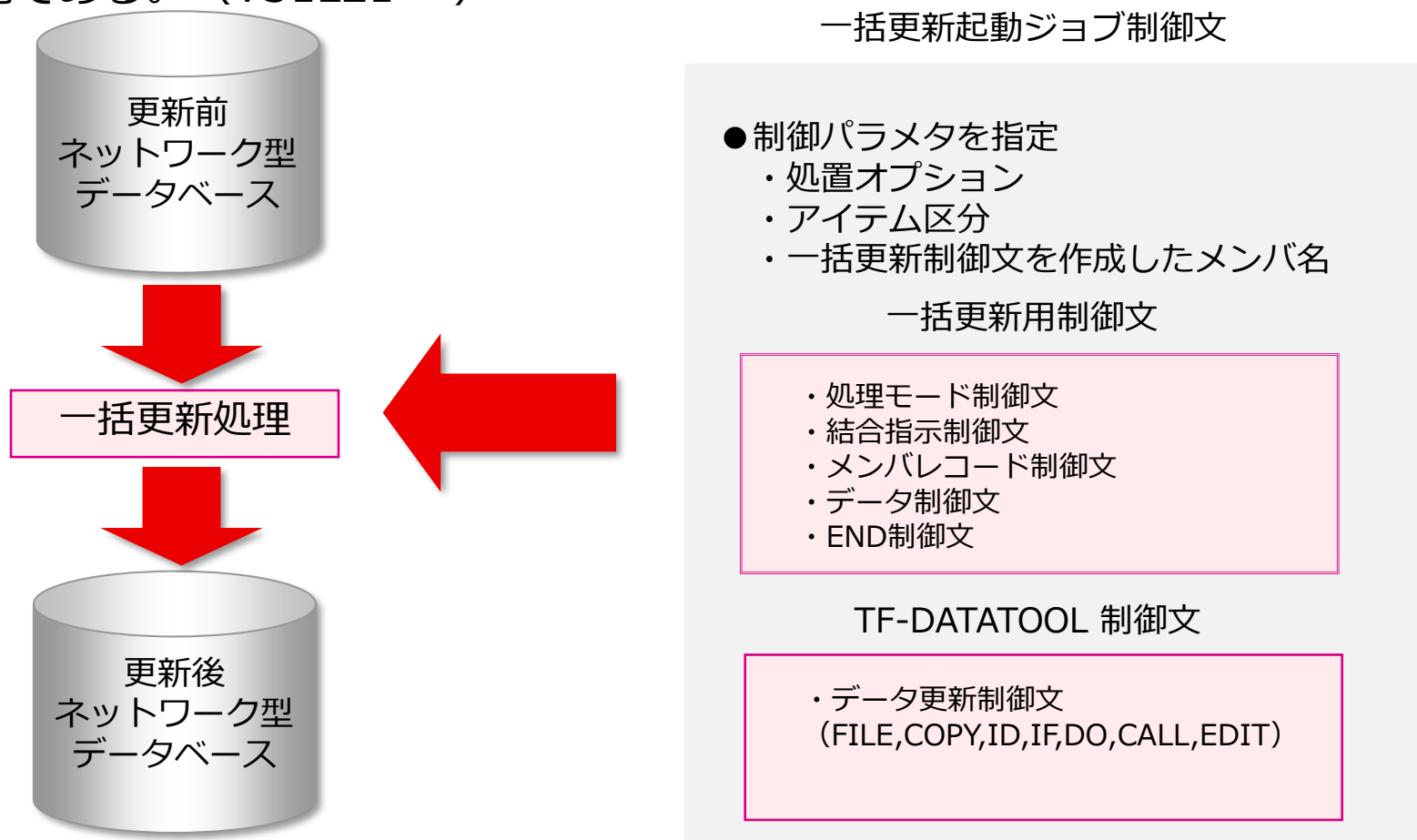
対象レコードを表示後にセット関係を変更する



5-6. 一括更新処理（バッチ処理）

DBSPの制御文を用いて、バッチ形式で複数の一括更新処理（変更、追加、削除）を行う。

また、SIMPLIA TF-DATATOOL V22L10以降の更新制御文を使用してNDBの更新も可能である。（V31L21 ～）



5-7. 更新ログ取得のためのユーザ出口機能

データベース更新時のログ情報を利用者プログラムへ渡すことが可能

LV	アイテム名	属性	位置0	1	2	3
01	A001REC					
02	発管番号	9(005)	0001	00001		
02	発管詳細番号	9(003)	0006	001		
02	発管課名コード	X(00001)	0009	A		
02	発管年月日	X(00008)	0010	20021201		
02	発管製造コード	X(00003)	0018	A01		
02	発管内容	X(00030)	0021	DENPYOU1		
						*** END OF DATA ***

更新処理

LV	アイテム名	属性	位置0	1	2	3
01	A001REC					
02	発管番号	9(005)	0001	00001		
02	発管詳細番号	9(003)	0006	001		
02	発管課名コード	X(00001)	0009	A		
02	発管年月日	X(00008)	0010	20021201		
02	発管製造コード	X(00003)	0018	A01		
02	発管内容	X(00030)	0021	DENPYOU1-001		
						*** END OF DATA ***

利用者プログラムへ渡す主なログ情報

- 1) 処理モード
- 2) アクセス結果コード
- 3) アクセス時のキー値
- 4) レコード名
- 5) レコード長
- 6) レコードの内容

ログ情報

処理モード : GET
アクセス結果コード : 正常
レコード名 : A001REC
レコードの内容 : 発管内容 = DENPYO001

ユーザプログラム

※ 会話処理ユーザ出口

‘DBSPEXON’

※ 一括更新処理ユーザ出口
‘DBSPEXBT’

ログ情報

処理モード : GET
アクセス結果コード : 正常
レコード名 : A001REC
レコードの内容 : 発管内容 = DENPYO001-001

5-8. wwwブラウザからホストのデータの操作が可能

V33L10以降

WWWブラウザを起動してURLを入力
http://WWWサーバ名/DBSP/servlet/DWDbsp

SIMPLIA/TF-DBSP Web連携機能

LOGIN

ユーザ名

パスワード

その他

GSホスト名(IPアドレス)

プロジェクト名

フォーマット種別 ☐ スキーマ ☐ サブスキーマ ☐ COPY句、YPS構造体

日本語オプション ☐ YES ☐ NO

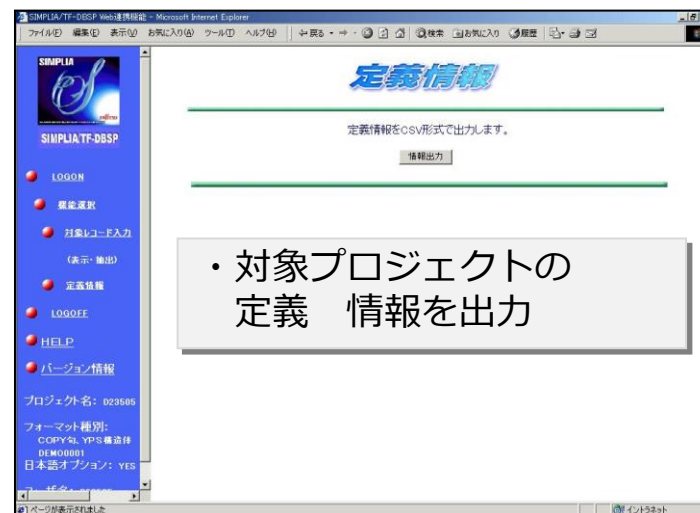
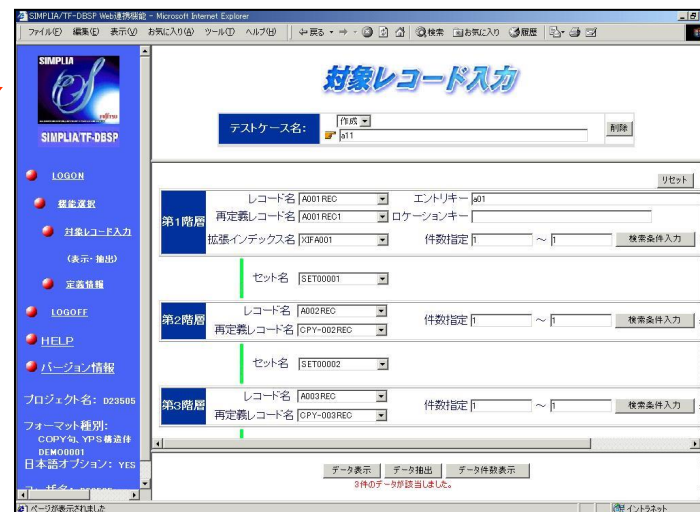
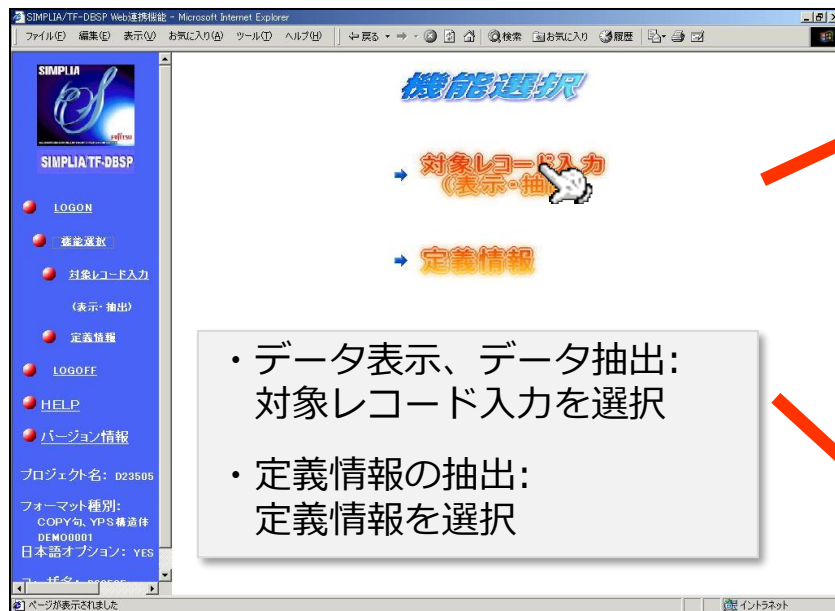
LOGON

必要な情報を入力して
LOGONボタンをクリック

項目
ユーザ名
パスワード
その他
GSホスト名 (IPアドレス)
プロジェクト名
フォーマット種別
サブスキーマ名 環境識別名
日本語オプション
LOGON

5-8-1. 機能選択画面からの遷移

- ・ 処理対象のレコードを選択。
テストケースを指定することで同じ条件の表示が可能



各画面の左側には画面遷移用のボタンと
プロジェクト情報が表示

5-8-2. 表示・抽出条件の指定

SIMPLIA/TF-DBSP Web連携機能 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) 戻る 検索 お気に入り 履歴

SIMPLIA
SIMPLIA/TF-DBSP

LOGON
機能選択
対象レコード入力
(表示・抽出)
定義情報
LOGOFF
HELP
バージョン情報

プロジェクト名: D23505
フォーマット種別:
COPY句、YPS構造体
DEMO0001
日本語オプション: YES

ページが表示されました

対象レコード入力

テストケース名: 作成 a11 削除

リセット

第1階層

レコード名 A001REC エントリキー a01
再定義レコード名 A001REC1 ロケーションキー
拡張インデックス名 XIFA001 件数指定 1 ~ 1 検索条件入力

セット名 SET00001

第2階層

レコード名 A002REC 件数指定 1 ~ 1 検索条件入力
再定義レコード名 CPY-002REC

セット名 SET00002

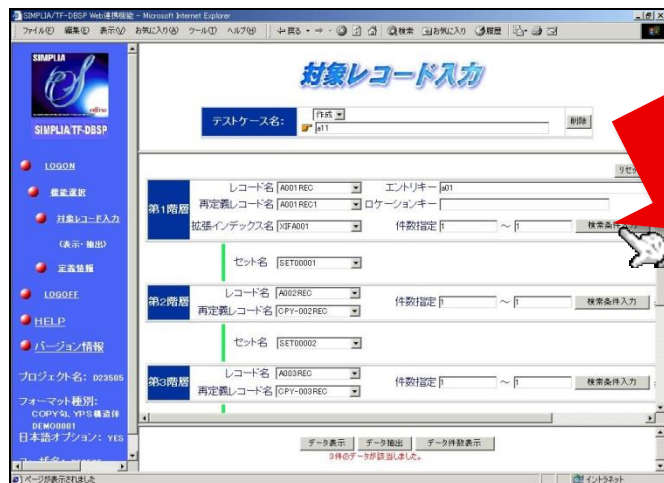
第3階層

レコード名 A003REC 件数指定 1 ~ 1 検索条件入力
再定義レコード名 CPY-003REC

データ表示 データ抽出 データ件数表示
3件のデータが該当しました。

イントラネット

5-8-3. 検索条件入力画面



Microsoft Internet Explorer

表示(Y) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

検索条件入力

第1階層 レコード名 RECORD_AAAAA 再定義レコード名 RED_1_AAAAA

	項目名	比較演算子	データ値	論理演算子
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

件数指定 ~

確定 キャンセル リセット

* 件数指定は、検索条件にあったレコードの何件目を対象にするかを指定します。
範囲指定は、最下位のレコードのみ有効です。
* 再定義レコード名が表示されている場合には、検索条件に再定義レコード側の
項目名が使用されます。

ページが表示されました

イントラネット

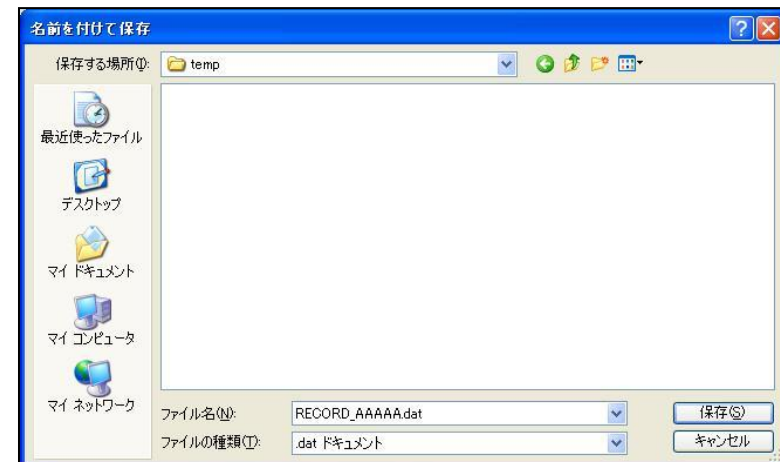
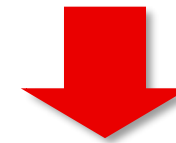
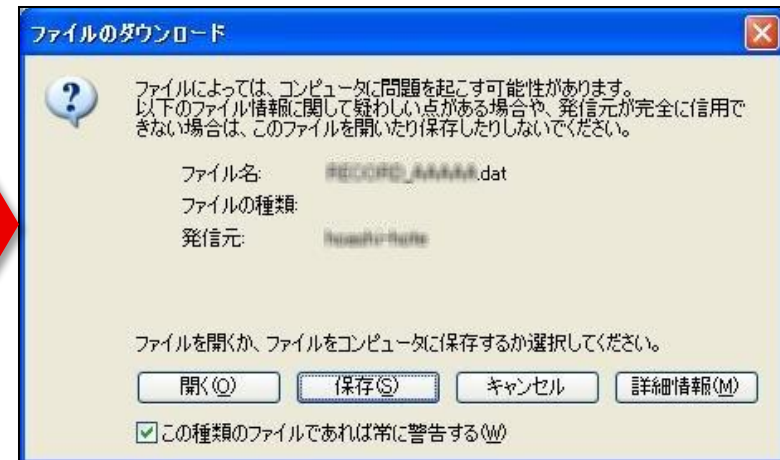
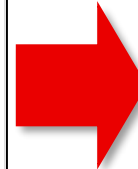
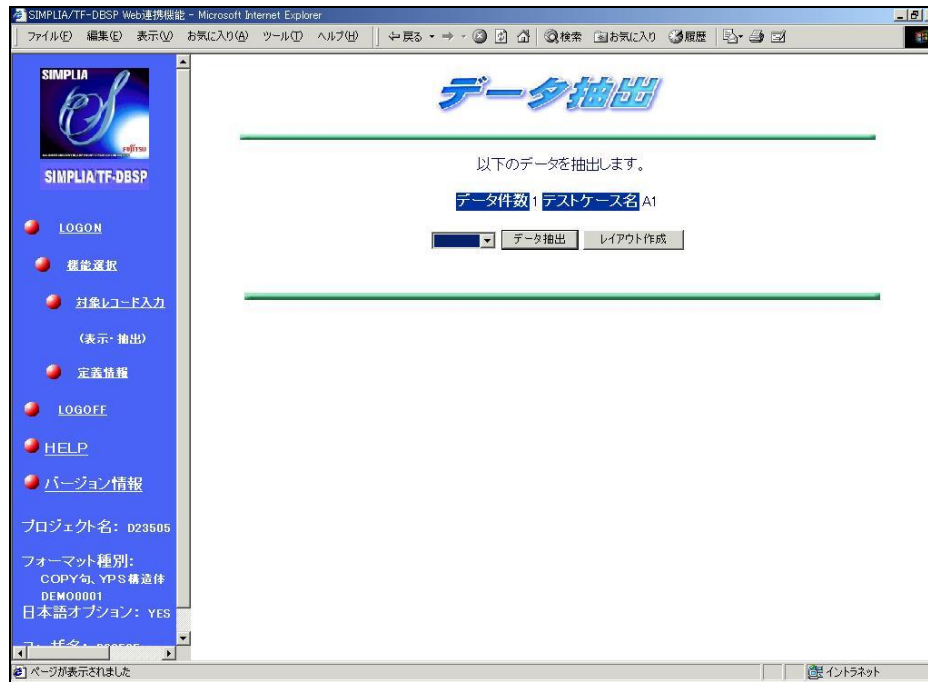
5-8-4. データの表示

項目名	発管番号	発管詳細番号	発管課名コード	発管年月日	発管製品コード	発管内容
属性	9(5)	9(3)	X(1)	X(8)	X(3)	X(30)
000001	00001	001	A	20021201	A01	DENPYOU1

レベル番号	項目名	属性	相番	データ内容
01	CPY-005REC	1		
02	原料名	X(8)	1	GOSEN1
02	原料単価	9(8)	9	00015000
02	原料数量	S9(4)	17	+0050
02	予備	X(30)	21	

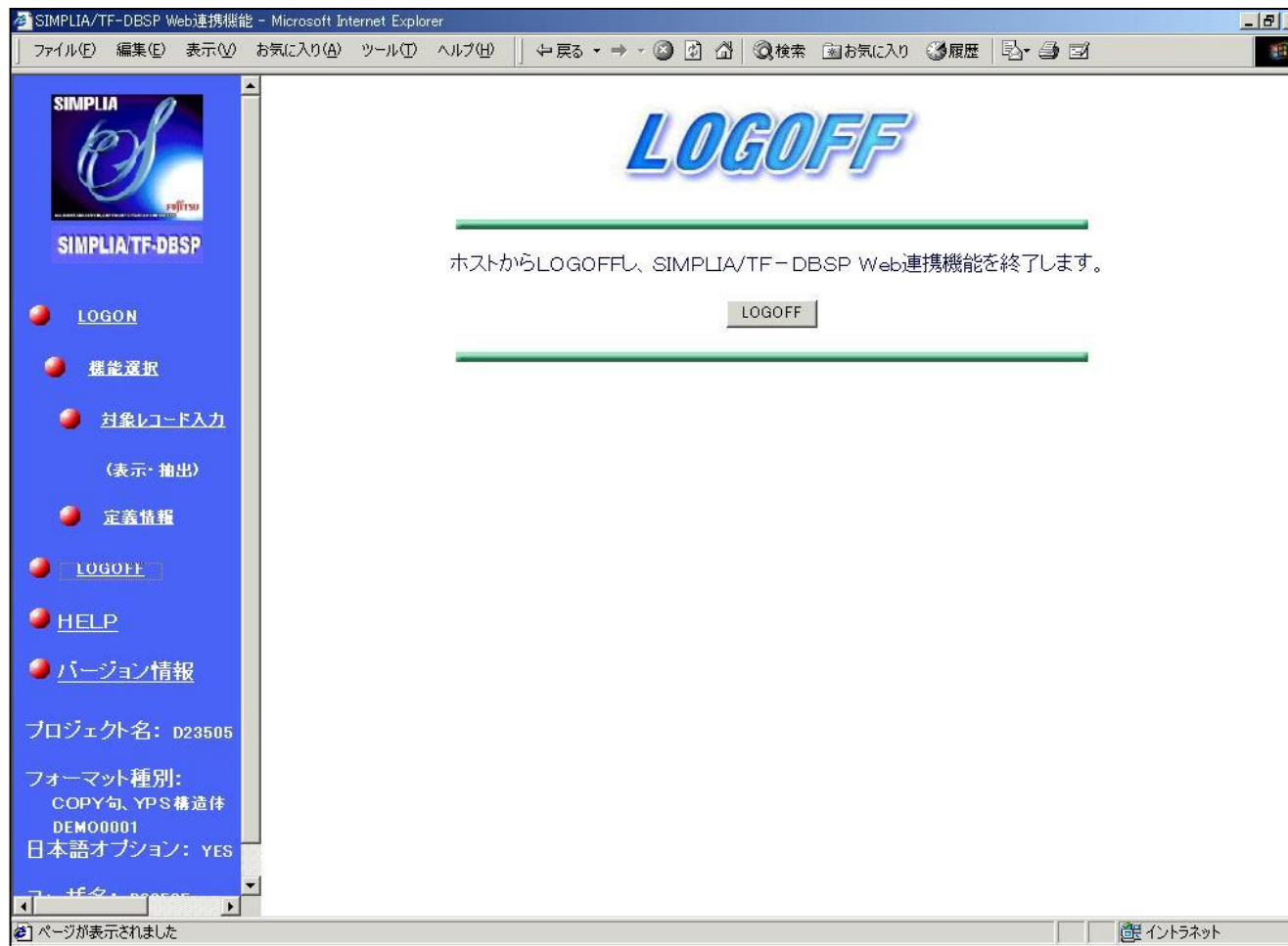
- ・ 処理対象のレコードの内容を表示
- ・ 表示方法は一覧形式とレコード形式
- ・ 初期表示は一覧形式
- ・ 本画面よりデータ抽出画面に遷移可能

5-8-5. データの抽出



- データをクライアントにダウンロード
- フォーマット単位のレイアウト定義ファイルを作成

5-8-6. ログオフ



6. 画面例

-LV-	アイテム名	属性	位置0	*--1--*	*--2--*	*--3
01	A001REC1					
02	発管番号	9(005)	0001	00002		
02	発管詳細番号	9(003)	0006	001		
02	発管課名コード	X(00001)	0009	B		
02	発管年月日	X(00008)	0010	20021202		
02	発管製品コード	X(00003)	0018	B01		
02	発管内容	X(00030)	0021	DENPYOU2		
				***	END OF DATA	***

レベル

項目名

OCCURSインデックス

データ内容

先頭からのバイト数

属性、桁数

必須ソフトウェア

【クライアント側】			
項番	ソフトウェア	バージョン・レベル	備考
1	Windows® 8.1	—	いずれかのOS環境を選択
2	Windows® 7	SP1	
3	Windows Server® 2012 R2	—	
4	Windows Server® 2012	—	
5	Windows Server® 2008 R2	SP1	
6	Internet Explorer 11	—	いずれかのブラウザを選択
7	Internet Explorer 10	—	
8	SIMPLIA TF-MDPORT	V60L10以降	抽出データをコード変換して利用する場合に必要

※ x64用のOSをご使用の場合は、WOW64環境で動作します。

【WWWサーバ側】			
項番	ソフトウェア	バージョン・レベル	備考
1	Windows® 8.1	—	いずれかのOS環境を選択
2	Windows® 7	SP1	
3	Windows Server® 2012 R2	—	
4	Windows Server® 2012	—	
5	Windows Server® 2008 R2	SP1	
6	Apache Tomcat	8.0.28	Servletコンテナ
7	Apache HTTP Server	2.4.23	WWWサーバ
8	JDK	Java SE 8u66	Java開発キット

※ x64用のOSをご使用の場合は、WOW64環境で動作します。

【ホスト側】		バージョン・レベル		
項番	ソフトウェア	MSP	XSP	備考
1	AIM/DB	V12L30,V20L10以降	V20L10以降	
2	COBOL85	V12L10以降	V12L20以降	
3	IPF	V10L21以降	V10L21以降	緊急修正No.AL27945・が吸収されていること
4	ソートマージ	V10L30以降	V11L10以降	
5	GEM	V10L30以降	V10L30以降	ADLソースライブラリ, COPY句ライブラリまたはYPSインクルード仕様書がGEMの場合
6	ADJUST	V10L50以降	V11L10以降	日本語を使用する場合 V10L50使用時はPTF L89061以降にする (DATATOOL連携時は必須)
7	YPS/COBOL	V11L10以降	V11L10以降	YPS構造体環境セットアップを行う場合
8	PFD	V10L30以降	V10L30以降	
9	JEF基本辞書	V01L92以降	V01L92以降	日本語使用時 (DATATOOL連携時は必須)
10	SIMPLIA TF-DATATOOL	V22L10以降	V22L10以降	一括更新処理のDATATOOL連携を使用する場合
11	TISP	V11L20 C95051以降	V11L20 C95051以降	いずれかを選択
	TISP/BP	V10L10	V10L10	

必要リージョンサイズ

2048KB以上（対話機能） 3072KB以上（一括更新機能）

制限および注意事項

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①ADLソースはAIMディレクトリに登録済であること。②ADLソースは文法上誤りがないこと。③エントリキーは最大60桁までとする。④拡張インデックスのユーティリティ（XIGEN）はサポートしていない。⑤機密保護機能はないため、データベースを保護する場合はRACF等を使用する。⑥排他制御、リカバリに関する考慮は行っていないため、AIMの機能を使用すること。 |
|---|

～ お客様のご要望にお答えします ～



Q/Aサービス

製品の使い方や適用例について詳しく聞きたい

無償レベルアップサービス

レベルアップ版は無償で提供して欲しい

最新情報のご案内サービス

新製品情報、バージョン/レベルアップ情報を知りたい

トライアルユースサービス

導入検討中のSIMPLIA製品を試用したい

製品媒体再提供サービス

紛失・破損した製品媒体を再提供して欲しい

障害情報通知サービス

導入製品の障害情報を提供して欲しい

SIMPLIAに関する最新の情報は、下記URLの富士通サイト内検索から「**SIMPLIA**」で検索してください。

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/>

Thank you

